

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	果実の木豊成			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 1日 ～ 令和 7年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 1日 ～ 令和 7年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動・療育内容について、様々な体験ができるようプログラムを実施している点。	・様々な活動プログラムを行っているが、それぞれ児童に合わせて難易度を変えることができ、楽しんで参加しつつも目的を持った内容になっていること。	・引き続き、各職員が事業所のコンセプトである「お子様の好き・得意を伸ばして自信に繋げる」ことを念頭に入れ支援を行う。今後も新たな活動を積極的に取り入れ、活動・療育の幅を広げていく。
2	・当日の利用・送迎変更、相談事等、可能な限り保護者の要望を受け入れられるよう体制を整えている点。	・家庭の事情等もある為、予定変更があった場合でも柔軟に対応できるよう職員に周知している。 ・相談事等、保護者が気軽に話せる雰囲気作りを各職員が心掛けている。	・児童数が増え、急な予定変更等に対応が難しい場合が出てきているが、系列事業所と連携しながら利用・送迎変更にも柔軟に対応していく。 ・引き続き、保護者からの相談があった場合には真摯に対応し、相談しやすい事業所作りを行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時の対応や安全確保の取り組みについて、緊急時の対応マニュアルを整え訓練も行っているが、職員・保護者への周知が足りていないと感じる。	・各マニュアルについて、それぞれ職員が書類を確認しただけでは緊急時にスムーズな対応が難しいと考えられる。ミーティング等での周知が必要と考えられる。	・フローチャートを作成する等、見てすぐに理解できるよう工夫が必要。また、職員がより連携できるよう、緊急時の対応についての話し合いをこまめに行っていく。
2	・職員間のミーティングへの参加がまちまちになってしまい、情報共有ができていないことがある。	・ミーティングで話した内容は申し送りノートに記載しており、各自確認後にサインしているが、全職員の確認のチェック体制が整っていない。	・ミーティングに参加できない職員には、申し送りノートの確認と口頭で内容を伝え、情報共有を図る。また、毎朝の朝礼の際にも全体に確認、周知していく。